

単元名 ようすを おもいうかべながら よもう
『おとうとねずみ チロ』

国語科 学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成22年11月〇日 (〇)

2 学年・組 第1学年〇組 (男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名)

3 指導内容(単元の目標)

(1) 指導事項「C読むこと」 ウ

- 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

(2) 言語活動例 イ

- 物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること。

(3) 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ(カ)

- ・文の中における主語と述語との関係に注意すること。

4 単元名 ようすを おもいうかべながら よもう 『おとうとねずみ チロ』

5 単元の目標を達成させるための言語活動

- 物語を演じること(動作化)。

6 単元の評価規準(目標を達成した時の子どもの姿)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○お話の読み聞かせを楽しんで聞き、興味をもってお話を読もうとしている。 ○声に出したり、動作化したりしながら楽しんで読もうとしている。	○場面の様子やチロの気持ちを思い浮かべながら読んでいる。	○文の中における主語と述語との関係に注意しながら読んでいる。

7 単元に関して

- 児童の状況

・読み聞かせを楽しんで聞くこと：毎週1回以上紙芝居や絵本の読み聞かせを行っている。読み聞かせの際は、お話に興味をもち、どんなお話に興味をもって聞いている児童が多い。また、登場人物になりきって、一喜一憂しながら聞いている児童もいる。しかし、自分で読む際には、絵だけを見て終わってしまい、文章を読んでいる児童もいる。

・興味をもってお話を読もうとすること：廊下にある学年文庫の本を朝の読書タイムや休憩時間など時間を見つけては意欲的に読書をしている児童が多い。しかし、一

冊の本を手にとってもパラパラとページをめくっただけですぐに他の本に変えてしまったり、絵だけを見て終わってしまっている児童もいる。

- ・ **声に出したり、動作化したりすること**：4月末から詩や物語などの音読を継続的に行ってきた。登場人物の気持ちを考えながら音読することができるようになった児童も多い。しかし、まだ文字を一文字一文字たどりながら読んでいる児童もいる。動作化に関しては、7月の『おおきなかぶ』の学習で行った。
 - ・ **場面の様子や人物の気持ちを思いうかべながら読むこと**：「読むこと（物語文）」に関しては、6月の『てがみ』、7月の『おおきなかぶ』で、それぞれの場面の様子や登場人物の行動、気持ちを考えながら読む学習を行った。多くの児童が登場人物になりきって気持ちを考えながら読むことができた。しかし、叙述に即して読むまでには至っていない。また、文字を追うことで精一杯の児童や、気持ちを考えるとということがどういうことなのか理解できていない児童もいる。
 - ・ **主語と述語との関係に注意して読むこと**：主語と述語との関係に注意して読むことについては、7月の『おおきなかぶ』の学習で行った。ここでは、誰が誰を呼んできたのか、誰が誰を引っぱったのかを考えながら読み進めていった。
- 教材の価値
- ・ **読み聞かせを楽しんで聞くこと**：兄弟の中で最も幼いチロが、誰の助けも借りずに心配事を乗り越え、おばあちゃんとも心を通わせていく物語である。「チロ」が「おとうとねずみ」であり、最下級生としての一年生の児童に共感を呼びやすく、興味をもって聞いたり読んだりすることのできる教材である。
 - ・ **場面の様子や人物の気持ちを思いうかべながら読むこと**：この物語は、物語の始まり（おばあちゃんからの手紙）→物語の展開（チロの不安）→山場の始まり（チロの心配と決断・実行）→山場（おばあちゃんへの呼びかけ）→物語の終わり（おばあちゃんの贈り物と感謝の気持ち）の5つの場面で構成されており、主人公チロの気持ちがわかりやすい展開になっている。そのうえで、主人公の気持ちが会話文や行動に明確に描かれているので、主人公の気持ちを思い浮かべながら読む学習に適した教材である。
 - ・ **主語と述語との関係に注意して読むこと**：この物語は、主語が明確に表してある文が多く、主語と述語との関係を確認させやすい教材である。
- 8 児童の状況と教材の価値を勘案した単元の目標を達成させるための指導の工夫
- **興味をもってお話を読むために**：教師による読み聞かせを聞いた後に、好きな場面を絵に描かせ、初発の感想を書かせる。
 - **叙述に即した読み取りをさせるために**：チロの会話文をどういうふうに音読したらよいか考えさせる。その際、挿絵を手がかりとし、叙述に即して根拠を考えさせるようにする。
 - **想像を広げながら読ませるために**：どのように音読するか考えたことを隣の人と話し合い、実際に音読したり動作化したりする活動をさせる。

9 単元の学習と評価の計画 (全9時間)

次	時	学習活動	評価の観点			評価規準 [評価方法]
			国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
一	1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> 扉の呼びかけの言葉や題名を読み，挿絵を参考にして想像をふくらませる。 読み聞かせを聞き，初発の感想を書く。 初発の感想を交流する。 	○			興味をもって教材文を読もうとしている。 [行動観察・ノート]
二	3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> 第一場面を読み，おばあちゃんからの手紙の内容と，チロの心配な気持ちを読み取る。 		○	○	手紙の内容を読み取り，嬉しさが不安に変わっていくチロの気持ちを想像し，表現している。 [ワークシート・音読(+動作化)]
	5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> 第二場面を読み，丘のてっぺんの木へ行っておばあちゃんに呼びかけるチロの様子や気持ちを読み取る。 [本時 6/9] 		○	○	チロの考えた「いいこと」を読み取り，丘のてっぺんの木から呼びかけるチロの様子や気持ちを想像し，表現している。 [ワークシート・音読(+動作化)]
	7	<ul style="list-style-type: none"> 第三場面を読み，小包が届いた後のチロの嬉しさとおばあちゃんへの感謝の気持ちを読み取る。 		○	○	チロのおばあちゃんへの感謝の気持ちを想像し，表現している。 [ワークシート・音読(+動作化)]
三	8 ・ 9	<ul style="list-style-type: none"> チロの行動を順番に整理し，チロの気持ちがどのように変化していったかを考えながら全文を音読する。 		○		チロの行動とお話の変化をとらえ，チロの気持ちを基に想像を広げながら読んでいる。 [音読]

10 本時の目標

- 丘のてっぺんの木に行っておばあちゃんに呼びかけるチロの様子や気持ちを会話文を中心に想像を広げながら読み取ることができる。

11 本時の目標を達成させるための言語活動

- チロになりきって気持ちを考えながら音読したり、演じたりすること。

12 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価基準 [評価方法]
確認 意欲付 け	<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 本時の学習課題を知る。</p>	<p>○「そうだ、いいことかंगाえた。」をチロになりきって音読する。</p> <p>○絵を大型テレビに映す。(ICTの活用)</p>	
<p>チロのきもちがつたわるよみかたをかंगाえよう。</p>			
	<p>3 第二場面を全員で立って音読する。(P 3 7 L 9 ~ P 4 1 L 2)</p>		
展開	<p>4 会話文に線を引く。</p> <p>5 会話文を発表する。 ①「おばあちゃあん……。」 ②「ぼくのこえがとんでった。おばあちゃんちへとんでった。」 ③「ぼくは、チロだよ。」 ④「ぼくにもチョッキ、あんでね。」</p> <p>6 会話文①, ②をどのように音読したらよいか全体で考える。 ①「おばあちゃあん……。」 ・おばあちゃんに届くように遠くに向かって。 ・大きな声で。 ②「ぼくのこえがとんでった。おばあちゃんちへとんでった。」 ・うれしがって。 ・元気よく。</p> <p>7 会話文③, ④をどのように音読したらよいかを考え、各自ワークシートに書く。 ③「ぼくは、チロだよ。」</p>	<p>○チロの言った言葉に線を引かせる。</p> <p>○「おばあちゃあん、おばあちゃあん……」という会話文が出てきたら、誰の言葉か確認させ、チロの会話文ではなく、やまびこであることを確認する。</p> <p>○挿絵や行動を表す言葉をもとに考えさせる。</p> <p>C : 「おばあちゃあん……。」の「……」に注目させる。「おばあちゃあん」の「ちゃあん」に注目させる。</p> <p>C : P 4 0の挿絵のチロの表情に注目させる。「うれしがってとびはねると」の表現に注目させる。</p> <p>○挿絵や行動を表す言葉をもとに考えさせる。</p> <p>C : 「まえよりもこえをはり</p>	<p>A : チロの考えた「いいこと」を読み取り、丘のてっぺんの木から呼びかけるチロの様子や気持ちを叙述をもとにして想像し、表現している。 [ワークシート・音読]</p> <p>B : チロの考えた「いいこと」を読み取り、丘のてっぺんの木から呼びかけるチロの様子や気持ちを想像し、表現している。 [ワークシート・音読]</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で。 ・前よりも声を張り上げて。 <p>④「ぼくにもチョッキ、あんでね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きく口を開けて。 ・大きな声で。 <p>8 会話文③, ④をどのように音読したらよいか隣の人と話し合う。</p> <p>9 全体で交流する。</p>	<p>上げて」の表現に注目させる。</p> <p>C:「大きく口をあけ」「いちばんだいじなこと」の表現に注目させる。</p> <p>○実際に音読したり動作化したりしながら話し合わせる。</p> <p>○実際に音読したり動作化したりしながら話し合わせる。</p>	
日常化 一般化	<p>10 チロの気持ちを想像しながら第二場面のチロの会話文を全員で立って音読する。</p> <p>11 次時の学習を知る。</p>		